

第42回全国障害者技能競技大会
<119> ネイル施術 競技課題A

1 競技内容

作品は、課題1～2の2種類とする。

(1) 課題1：『ネイルケアとカラーリング』

前半：【ネイルケア】(両手)爪の長さ、形、表面を整え、キューティクルのお手入れをします。ネイルサービスの基本となる健康で美しい爪と指先を保つためのネイルケアの仕上がりと技術テクニックで競います。

後半：【カラーリング】(両手) (右手：ネイルポリッシュ 左手：ジェルカラーリング)

2種類のカラーリングを施します。カラーリングの基礎であるネイルポリッシュとサロンサービスの主流であるジェルネイルカラーリングで、材料に合わせた技術テクニックと施術の正確さ、トータルの上上がりの美しさで競います。

- 片手 (モデルの右手5本) カラーリング：ポリッシュ (マット赤)
- 片手 (モデルの左手5本) カラーリング：ジェル (白パール)

(2) 課題2：『ネイルチップアート』 テーマ：自由

テーマに合わせたネイルデザインをネイルチップに施します。ネイルデザインの基本的なテクニックを用いて、独創的で華やかなネイルアートを時間内に制作します。

課題は自由とするため『作品タイトル』と『作品へのコメント』を200字程度でまとめて大会当日提出のこと。「作品へのコメント」を記入する用紙は、大会前日の選手下見(オリエンテーション)の時に用紙を配布します。

2 競技時間

【課題1：75分】

・前半ネイルケア：30分

手指消毒からスタートし、両手ウォーターケアを利用したキューティクルケアを行う。

爪の表面は、後半のカラーリング内容に応じた準備としてそれぞれバッフィング(右手)とサンディング(左手)まで行う。

・後半カラーリング：45分

モデルの両手にそれぞれ決められた手に2種類のカラーリング(ポリッシュとジェル)を行う。

【競技課題2：70分：ネイルチップ5本】

- ・作品は、ベースをポリッシュとし、アート部分は、ポリッシュ、アクリル絵の具を使用
- ・一枚のチップの仕上がりにテーマにあったアートデザインが50%以上施してあること
- ・爪につけられるアート作品（爪に装着可能な作品であること）
- ・立体的なパーツをその場で作成し爪に装着する事は可
- ・効果的にストーン、ホログラム、ラメ、ストーンなどの使用は可

3 提出方法

- 課題1：参加者からの申し出及び競技時間終了の合図で競技終了とし、モデルへの施術をもって提出とします。
- 課題2：完成した作品は競技終了後、所定の用紙に張り替え提出とします。

4 注意事項

- (1) 使用機材に不具合が発生した場合は、スタッフに報告し、指示に従ってください。
- (2) 作品が完成したらスタッフに申し出てください。
- (3) 会場での座席位置は、予めスタッフが決定します。
- (4) メモ、デッサン画、参考書、その他の資料等の持込みは一切不可とします。

(注1) 補助具等（書見台等）の導入が必要な場合は、事前に事務局に申し出ること。それらは原則として、参加者自身が持参し、事前にスタッフの立ち会いのもとで導入します。ただし、導入に関して不具合があっても特別な配慮は行いません。

5 競技会場に準備してあるもの

No.	機材名称	仕様	備考
1	作業台	W1800×D450×H700 (内高 640)程度	
2	選手用電気スタンド	クランプ式蛍光灯：100V 40W	
3	電源コンセント（各2口）	ジェルネイルランプ用・電気スタンド用	
4	完成作品保管・展示用長机	W1800×450×700 程度	
5	長机用テーブルクロス	白色、ビニール製	
6	椅子	背もたれ付	
7	ゴミ袋（小）	45号	
8	エタノール	消毒用エタノール	
9	ポリッシュリムーバー	ポリッシュリムーバー	
10	キューティクルリムーバー	キューティクルリムーバー	
11	ネイルチップ	競技当日配布	

1 2	ジェルカラー（白パール）LED 対応	競技当日配布（コンテナタイプ）	
1 3	テーブルシート		
1 4	水	お湯の温度調整の用	
1 5	電気ポット	1 台を参加者で共有	
1 6	選手作業テーブル用のごみ袋	A4 サイズのゴミ袋	

6 競技者が持参するもの

No.	機材名称	仕様	備考
1	消毒用容器	スプレーボトルなど	選手持参
2	コットン	ネイルコットン	選手持参
3	コットン容器	コットンワイプケース	選手持参
4	ウェットステリライザー	消毒用タンブラーなど	選手持参
5	メンダ（容器）	メンダポンプ（必要に応じて）	選手持参
6	ベースコート（ポリッシュ）	ナチュラルベースコート	選手持参
7	トップコート（ポリッシュ）	トップコート	選手持参
8	ポリッシュカラー（マット赤）	カラー	選手持参
9	ベースジェル（ジェル）	ジェルベースコート（メーカーや形状は問わない）	選手持参
1 0	トップジェル（ジェル）	ジェルトップコート（メーカーや形状は問わない）	選手持参
1 1	ジェル用筆	ジェル筆（白パールがコンテナタイプのため必要）	選手持参
1 2	ジェルネイル用ランプ	メーカーは問わない（LED カラージェルに対応した 3 6 W クラスのランプが望ましい）	選手持参
1 3	爪用消毒剤	ジェルネイル塗布前に爪用消毒で使用	選手持参
1 4	ワイプ類	使用するジェルのタイプに応じ用意	選手持参
1 5	スパチュラ	カラージェル攪拌用	選手持参
1 6	ネイルプッシャー	ネイルプッシャー	選手持参
1 7	キューティクルニッパー	キューティクルニッパー	選手持参
1 8	ネイルファイル	エメリーボード（爪の状態にあったグリットを使用）	選手持参
1 9	ウッドスティック	ウッドスティック	選手持参
2 0	シャイナー	必要に応じて	選手持参

2 1	バッファー	バッファー	選手持参
2 2	スポンジファイル	ジェルのサンディング時に使用	選手持参
2 3	ガーゼ	ネイルケア用	選手持参
2 4	ダストブラシ	ダストを払うブラシ	選手持参
2 5	トレー	ケース（用具を入れるため）	選手持参
2 6	ブラシ立て	ジェル筆、ファイルスタンド	選手持参
2 7	フィンガーボール	フィンガーボール	選手持参
2 8	ペーパータオル	ペーパータオル	選手持参
2 9	アームレスト	アームレスト	選手持参
3 0	作業エリア用タオル	白無地タオル	選手持参
3 1	チップスタンド	チップスタンド（5個組）	選手持参

※上記に記載のないもので、**施術に必要と思われる物があればご準備下さい。**

ただし、持参した道具については、選手下見の際に確認します。主催者は競技者に対し、著しく有利になるとと思われる道具の使用を認めない場合があります。

※ジェルネイルランプ用に延長コードが必要と思われる方は各自でご用意下さい。

「選手が準備・持参するもの」

◎【重要】第4 2回大会では**施術するモデルは各自で手配をお願いします。**

※**配宿等については主催者側からあらためて連絡を行います。**

◎課題1の前半と後半で使用する道具は、普段使用しているものを各自持参して下さい。

※ネイルケア、ネイルポリッシュ、ジェルネイル施術で使用する道具は、各自で必要な道具一式をお持ち下さい。

※後半の**カラーリング**では、**ネイルポリッシュによるカラーリング（マット赤）とジェルのベース・トップ及びそれらの施術に必要な材料と道具を各自持参してください。**（ジェルカラーリングの白パールは不要）

【ジェルのカラーリング（白パール）に使用するカラージェルについて】

※ジェルのカラーリングで使用する白パールは、主催者側で用意致します。

ジェルカラー（白パール）は、大会前日の選手下見（オリエンテーション）の日に発表し、選手が持参したジェルネイルランプで硬化状況やジェル製品のテクスチャー等をオリエンテーションの時間内に各自確認して頂きます。

※使用する製品や機器のメーカー等は問いません。

※選手持参一覧に記載がない材料などで必要な物は、各自で必要に応じてご用意下さい。

ネイルケア&カラーリングのモデルの爪の状態について

- ・ネイルカラーなどが何もついていない、ナチュラルネイルの状態。
- ・亀裂等の処理はネイルグルーのみ使用可。（本数は問わない）
（ネイルグルー以外の素材でリペアが確認された場合には、減点の対象となります。）
- ・何も塗布していない状態から始める。（ネイルグルーを除く）
- ・爪の長さは、手の平側から見て1mm以上5mm程度までの爪の状態の方。
- ・形を整えられる長さがあり1週間以上お手入れがされていない方。
（1週間以上お手入れをしていない状態と判断ができない場合は、減点の対象となります。）

◎課題1、課題2で使用する機材一式：普段使用しているものを持参して下さい。

※使用機器のメーカー等は問いません。

※ジェルカラー（白パール）は主催者側で用意します。

※ネイルチップは主催者側で用意します。

7 テーブルセッティングに関して

- ※競技開始前までに、全て準備が終了していること
 - ・作業中に使用器具、材料をカバンから出す場合は減点とする
- ※ジェルネイルランプの電源を競技前に確認すること
- ※使用する器具、材料はトレーの中にセッティングし作業中も衛生的に管理すること
（ジェルネイルランプは、トレーの外にセッティングし、各自で管理してください）
 - ・ウエットステリライザーを必ずセッティングすること
（ニッパー、プッシャーをセッティング）
 - ・ジェルネイルランプは衛生的なものを使用し、競技中も衛生に配慮すること
 - ・ジェルネイルランプのセッティング場所は自由

課題1（ネイルケアとカラーリング）

●競技時間

75分（前半：ネイルケア30分・《審査10分》・後半：カラーリング45分）

●競技内容

モデルの手に、手指消毒からネイルケア～カラーリングまで施す。

【競技手順】

前半：ネイルケア(30分)

* 施術はウォーターケア（お湯を利用した）を利用したネイルケアをモデルの両手に施す。

- 消毒液を含ませたコットンを用いて施術者の手指、次にモデルの手指を消毒する。
 - ・施術者、モデルそれぞれに別のコットンを使用すること。
- エメリーボードを用いてフリーエッジの長さとしを整える。
 - ・ファイリングは一方方向に行うこと。
 - ・形はラウンド、オーバル、スクエアオフのいずれかの形を整えること。
 - ・10本の長さ、形は揃えること。
- キューティクルリムーバーを塗布し、フィンガーボールに入れる。
- プッシャーを用いてキューティクルをプッシュアップする。
 - ・プッシャーはメタルプッシャーを使用すること。
 - (キューティクルリムーバーや水を使用しながら行うこと。爪を傷つけないようにすること)
- ガーゼとキューティクルニッパーを用いてルーススキン、ささくれを除去する。
 - ・キューティクルニッパーで爪や皮膚を傷つけないようにすること。
- 後半のカラーリングにあった爪の状態を準備する。
 - ・モデルの右手：ポリッシュでの施術が施せる状態
 - ・モデルの左手：ジェルネイルの施術が施せる状態（爪全体に適切なサンディングを施す）
 - サンディング不要のジェルを使用した場合でも、競技上のルールとして、モデルの爪に適切なサンディングを行ってください。
- 爪の表面、裏面のダストをキレイに取り除く。
- 使用した器具/材料を全て片付け、汚れたペーパータオルを交換する。
- 手指消毒（技術者の手指、モデルの手指）から、キューティクルケア、それぞれのカラーリングが施せる状態まで行う。

●チェックポイント

- ・衛生的に施術を行っていること。
- ・器具、材料は必要なものが準備され、常に整理整頓された状態であり、正しく使用していること。
- ・フリーエッジの削りあとが滑らかで、削り残しやダストが残っていないこと（フリーエッジ裏も含む）。
- ・ルーススキン、ささくれや甘皮の処理がきれいに適切にされていること。
- ・10本のフリーエッジの長さとしがバランス良く揃っていること。
- ・後半のカラーリングに合わせ爪の準備が適切にされていること。
- ・作業手順は問わない。
- ・作業を全て時間内に終了すること。
- ・危険行為や出血などがある場合は減点とする

審査(10分)

後半：カラーリング（45分）

カラーリングは、ネイルポリッシュ（マット赤）とジェルカラー（白パール）を使用すること。

*モデルの右手：ネイルポリッシュ（マット赤） / モデルの左手：ジェルカラー（白パール）

* 施術の順序は問わない。

* カラーはいずれも2度塗りとする。

①爪の表面、フリーエッジの裏の油分、水分の除去をする。

・カラーリングの施術内容に応じた、爪のクリーンを行なうこと。

②爪のエッジと表面にベースを塗布する。

③爪の表面とエッジにカラーを塗布する。（1度目）

④爪の表面とエッジにカラーを塗布する。（2度目）

⑤爪のエッジと表面にトップを塗布する。

⑥ジェルネイルは未硬化ジェルのベタつきがない状態にする。

・ジェルネイルは、カラーリング終了後にファイルを使用することは不可とする。

（ネイルファイルを使用し爪やジェルを整えた場合には減点とする）

・仕上がり後、キューティクルオイルの塗布は不可とする。

・未硬化ジェルが出ないタイプのジェル製品を使用した場合には、ふき取りを行わなくても良い。ただし、ベタつきがないこと。

●チェックポイント

- ・衛生的に施術を行っていること。
- ・エッジの塗り残しがないこと。
- ・先端の厚みが均一であること。
- ・爪裏に製品が流れていないこと。
- ・キューティクルラインが空き過ぎず滑らかであること。
- ・サイドの塗り残しがないこと。
- ・表面に色むらや刷毛あと、ダスト、凹凸、液だまりなどが無いこと。
- ・素材に合ったツヤがあること。
- ・皮膚にカラーやジェル製品がついていないこと。
- ・時間内にトップコート・トップジェルまで塗られていること。
- ・ジェルは未硬化ジェルがない状態であること。
- ・カラーリング終了後、ネイルファイルを使用しないこと。

●注意事項

- ①競技開始時にモデルの事前審査を行う為、事前審査中にモデルの手や爪に触らないこと
- ②モデルに出血が生じた場合は放置せず、近くにいる競技委員の指示に従うこと
手指を消毒してから施術を再開すること。
- ③器具、材料を落とした場合は放置せず、拾い、破棄する。破棄できないものは消毒液で消毒してからセツ

ティング、使用すること。

- ④時間内にすべての作業が終了されていない場合は減点となる。
- ⑤審査中、モデルの爪や手に触れないこと。
- ⑥ジェルネイルはカラーリング（トップジェル硬化後）終了後、はみ出したジェルをネイルファイルで削らないこと。（ネイルファイルで削り整えた場合には、減点となる。）

課題2（ネイルチップアート）

ネイルアートの基本的なテクニックをネイルチップに施す。

自分の選んだ『テーマに沿った』ネイルアートをネイルチップ（5本）に施す。

●競技時間 70分

●競技内容

ネイルチップ（5本）にアートを施す。（アートチップのサイズは8ページの図を参考にしてください）

トップコートを塗って仕上げること。

※見本（メモ、デッサン画、事前に作成したチップ等）を見ながらの作業は不可。

※チップサイズの目安：当日使用のチップは、競技前日の下見の際にお渡しします。

●注意事項

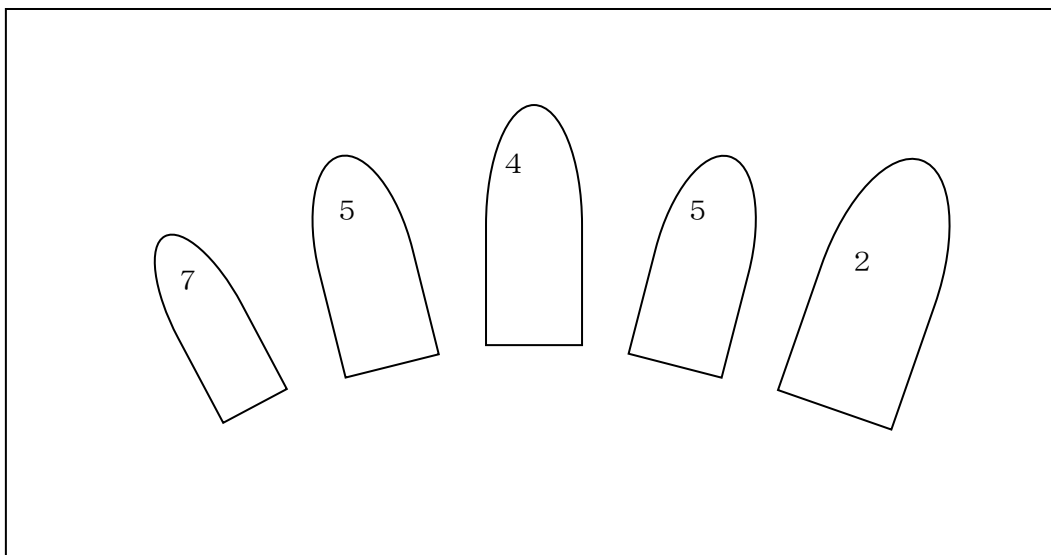
- ①衛生的に作業を行うこと。
- ②使用するチップを加工（形を整えるなど）し、チップスタンドに装着する。
- ③チップのファイリングスタイルは自由。
- ④作品は、ベースをポリッシュとし、アート部分はポリッシュ、アクリル絵の具を使用する。色や使用するメーカーは問わない。
- ⑤課題のテーマに沿ってアートを施す。
- ⑥ネイルアートの装飾品は効果的に使用することは可（ラメ・ラインストーン・スタッズなど）。
- ⑦市販されているネイルシールや3Dパーツなどデザイン性のあるパーツの使用は不可。
- ⑧著作権など他者の権利を侵害していないこと。
- ⑨ネイルケースに入る作品とすること（9cm×13.5cm×2.5cm）。
- ⑩5本全体で1つのテーマを表現するものとし、5本それぞれのデザインが異なるものであってもかまわない。

●チェックポイント

- ・一枚のチップの仕上がりにアートデザインが50%以上施してあること
- ・爪につけられるアート作品（1枚単体で装着可能な作品）

- ・立体的なパーツをその場で作成し爪に装着する事は可
- ・効果的にストーン、ホログラム、ラメなどの使用は可
 - ※但し、デザインが出来上がったパーツ及びネイルシールなどの既成の製品の使用は不可
- ・必要に応じ、最後にトップコートでのコーティングを行う事
- ・時間内に終了しているか
- ・テーマに合ったデザインか
- ・オリジナル作品でありデザイン性が優れているか
- ・デザインテクニックに優れているか（色彩バランスとテクニック、ペイントテクニック）

- ・全体のバランスは適切であるか
- ・ネイルアートに必要な材料や道具の管理と使用方法を理解し衛生的に作業がされているか



※ アートチップの形とサイズ（参考）

※ チップのサイズの大きさの目安

（チップの長さ・幅/やや細くなる先端部分の幅）

- ・NO 7 : 長さ : 約 22mm ・ 幅 : 約 8mm / 約 7mm
- ・NO 5 : 長さ : 約 23mm ・ 幅 : 約 9mm / 約 8mm
- ・NO 4 : 長さ : 約 23mm ・ 幅 : 約 10mm / 約 8mm
- ・NO 2 : 長さ : 約 25mm ・ 幅 : 約 13mm / 約 10mm

